

# 草の根改革通信

文京区議会議員(無所属) 新風会 前田くにひろの活動報告



文京区議会議員の前田くにひろです。  
いつもご支援いただきありがとうございます。

私は、「声を出しづらい・出せない人たちの声を  
区政に伝えていく」ことを心がけてきました。  
そのような「声なき声」を受けとめる仕組みを  
文京区で実現してまいりました。  
その一部(a子ども b高齢・障害者 c自殺対策)  
をご紹介します(裏面)。

また、前号に引き続き「住まい方」について  
ご提案いたします(下記)。

これからも、初心を忘れず、頑張りますので、  
よろしく願いいたします。

声なき声を  
受けとめて！

集まって  
住むって  
楽しいな

キリトリセン

郵便はがき



料金受取人私郵便

本郷支店承認

2964

差出有効期間  
平成23年  
8月30日まで

113-8790

東京都文京区向丘2-13-14

文京区議会議員

前田くにひろ 行



切手は不要です。切り離してポストに投函してください。草の根改革通信の郵送を希望される方や、送付先の住所を変更なさりたい方も、このはがきでお知らせ下さい。

氏名

住所 行

電話番号

メールアドレス

草の根通信郵送を今後も 希望する/希望しない

## 「コレクティブハウス」を実現します！

“Co-living文京”へのお誘い

前号の「共に支え合う暮らし方」に強い反響がありました。  
個人の自由と気楽さと必要なときに助け合え、共に楽しめる住  
まい方が求められているとよく分かりました。文京区で「コレク  
ティブハウス」「Co-living文京」の実現に取り組んでいきます。

◆「コレクティブハウス」とは？

✦トイレ・風呂・台所完備の専用住戸がある。

✦居住者が集って食事や団らんしたり、  
近所の方や友人が気軽に立ち寄れる、  
みんなにひらかれた部屋を設けます。

✦住まい方は話し合って決めます。



ただいま、土地探しと居住者を募集中です。  
ご興味のある方はお気軽にご連絡ください。

## 住宅の温暖化対策も進めていきます！

また、新しい住宅づくりでは、住宅の温暖化対策も必要です。  
生ゴミや落ち葉、下水を発酵させ、メタンガスを作り出す技術があり  
ます。その技術を応用した設備を集合住宅に設置すれば、税金と燃料  
(石油)をかけて焼却していたゴミを資源に換え、CO2も減らせると環  
境にも経済的にも優しい住宅になります。

こうした技術の実用化に向けた  
情報や関心をお持ちの方、お力をお貸し下さい。

# a 子ども

新しい  
こどもの  
パートナー

## スクールソーシャルワーカー導入

### 子どもをめぐる困難さ

子どもをめぐるのは、◆いじめ・非行や不登校◆低所得や児童虐待など養育困難家庭への対応◆心身にハンディがある子どもへの支援など社会福祉によって解決される困難さがあります。

しかし、教師は、教科指導が専門であり、スクールカウンセラーは、心の内部を取り扱うため、社会福祉は専門外であり、社会福祉の専門性を持つ「スクールソーシャルワーカー(SSW)」が求められてきました。

### 文京区の実践

22年度から子どもを支援するSSWを導入します。SSW導入により、今まで以上に、子どもの声に耳を傾け、子どもが自分の人生の主役となるよう見守っていきます。



# b 高齢者・障害者

## 文京区社会福祉協議会が後見人になります！

### 誰が代弁者になるのか？

認知症になったり、知的障害がある場合、自分の意思を実現することが困難になります。

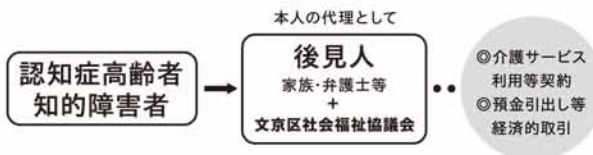
本人の代わりとなって契約などを行う、「後見人」を選任する成年後見制度がありますが、誰が後見人になるかが課題でした。多くは、家族や弁護士などの専門職の方がなってきました。

### 後見人を選ぶときのポイント

- 家族の場合** 手続きや帳簿記入等煩雑で負担が大きい。そもそも身寄りがないと選びようがない。
- 専門職の場合** 報酬が必要になるなど経済的な負担が重い。
- 共通の問題** 法人ではなく個人だと継続性が難しい。

### 文京区の実践

22年度からは、文京区社会福祉協議会も「法人後見人」となり、低所得者や家族など身寄りがない方の思いを実現していきます。



発行＝文京区議会議員 新風会 前田くにひろ（無所属）  
前田くにひろと文京を楽しむ会  
〒113-0023 向丘2-13-14 電話&FAX＝03-3818-3191  
E-mail＝info@maedakunihiro.com



# c 自殺対策

大切な  
いのちを  
まもる

## ゲートキーパー養成

### ゲートキーパーとは？

自殺で亡くなった人の7割は、生前に救助希求のサインを発していたとの調査結果があります。そうしたサインに気づき、必要な支援に繋ぐ役目を果たします人を「ゲートキーパー(門番)」といいます。まわりの人が、心と命の限界サインを発していることに気づき、適切な対応ができるような正しい知識と本人が安心して本心を声に出せるように受け止める姿勢を持っていることが重要です。

### 文京区の実践

文京区では、ゲートキーパーを養成するための講座が、区民や関心のある方に向けて文京区保健所主催で開催されました。区役所職員向けの養成講座は既に開かれていましたが、広く一般の区民の方に向けて行われたのは、画期的なことです。こうした取り組みを拡充し、身近なことで、大切な人の声を受けとめて、生きていく支援ができるようにしていきます。

### 遺族支援と自助対策

また、遺族の声をうけとめ、支援することも大切です。差別や偏見から、死因を自殺と言えない現状があります。遺族同士で安心して気持ちを分かち合える場や支援策を作っていきます。さらに、うつ状態になったとき、安心して見守られるところも実現していきます。



キリトリセン

### <アンケート> (該当するものに○をつけて下さい。)

- 回答する方について
  - a. 文京区 在住、在勤、在学、区外
  - b. 性別 男性、女性、その他( )
  - c. 年代 ~20代、30代、40代、50代、60代、70代~
- コレクティブハウスについて
  - コレクティブハウスに居住してみたい。
  - 所有している土地をコレクティブハウスために貸したい。/売りたい。
  - コレクティブハウスに興味がある。
- 住宅の温暖化対策について
  - 技術の情報をもっているので協力したい。
  - 関心がある。
- 自由意見(区政に対するご意見等お書きください。)